

## 4 / 27 校長室より No.11

〈 昨日の全校朝会で、次のような話をしました。〉

今年度、飯豊中生がめざす姿は何でしたか。そう、「自律を行動で示すがってしない飯豊中生」でした。「がってしない」とは、たくましい、粘り強い、へこたれないということでしたが、別な言い方をすれば「つよい」とも表現できます。



この「つよさ」は、文字で書くと「強」の字ではなく、私のイメージでは「勁」の字になります。「強」が鉄のようなつよさだとすると、「勁」のつよさは、**竹のようなイメージ**です。鉄は確かに硬くて丈夫ですが、一定の力がかかるとポキンと折れてしまいます。



それに対して、竹はしなやかで、折れそうになってもまた元に戻ろうとする。この**立ち直る力、はい上がる力、さらには諦めない力、打たれ強さ**。これが「勁」の意味するつよさ、皆さんに求めるつよさ、つまり「がってしない」ということです。

これから先、辛いことや失敗することが必ずあります。大切なのは、辛いことを避けたり、失敗しないようにしたりすることではなく、辛いことや失敗することがあっても、そこから立ち直ること、また、諦めずに挑戦を続けることです。そうすることによって「がってしない」心が身についていくのです。

これから「勁」のつよさを意識し、「自律を行動で示すがってしない飯豊中生」になっていきましょう。